

しなののうた

厚着する大寒なれど店内のマネキン早くも春の装い



杉田小百合

しなののうた

裸木を透かして遥かに槍ヶ岳白刃のごとく煌めきて見ゆ

杉田小百合



しなののうた

ある夜半に霰の音に目覚めるも夢の中なる如月の春



杉田小百合

しなののうた

水仙の香り漂う部屋の中ほろ酔い酒にひと日を足れり

杉田小百合



しなののうた

雨ごとの凍み柔める鉢植えの背比べするどの芽一番



杉田小百合